

第3学年 国語科学習指導案

対 象 3年1組 男18名, 女20名 計38名

指導者 堀井 郁子

- 1 単元名 せつめいのくふうについて話し合おう
教材名 主教材 「すがたをかえる大豆」 (光村図書 国語3下)
補助教材「身近な食べもののひみつ」 (学研教育出版) 他

2 単元について

(1) 児童について

本単元にかかわる学習内容についてレディネステストを行ったところ、次のような結果であった。

大豆からできた食品を知っているか。	豆腐。納豆。きな粉。 醤油。おから。	
「初め」「中」「終わり」の文章構成や、段落相互の関係をとらえることができる。	できる	40% (15人)
	どちらかというとき	30% (12人)
	どちらかというときできない	22% (8人)
	できない	8% (3人)
大事な言葉や文に注意しながら、文章を読むことができる。 (既習「こまを楽しむ」から)	できる	48% (18人)
	どちらかというとき	37% (14人)
	どちらかというときできない	10% (4人)
	できない	5% (2人)

この結果から、児童は、「初め」「中」「終わり」の大まかな構成や内容の読み取りはできているものの、段落相互の関係をとらえることに課題があることが分かった。前単元の「こまを楽しむ」では、段落ごとに大事な言葉や文を読み取りまとめた。しかし、事項が並列に表記されているものの、接続語などの手がかりとなる言葉が少なく、段落相互の関係をとらえる経験は不足していたと考えられる。本単元では、学習のまとめとして、「大豆のひみつリーフレット」を書く。そのために、中心となる語や文をとらえながら段落相互の関係を読み取る力を付けさせたいと考え、この単元を設定した。

(2) 教材について

本単元の中心となる指導事項は、読むことイ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」である。児童はこれまでに、2年「しかけカードの作り方」で順序を考えながら、分かりやすく説明する方法について考えたり、3年「こまを楽しむ」で「問い」と「答え」をとらえて、まとまりに気を付けて読んだりしてきた。また、「初め」「中」「終わり」でとらえる見方は、読むことの他にも、書くことや話す・聞くの教材を通して繰り返し学んできている。「すがたをかえる大豆」では、身の回りにある大豆やその加工品について書かれており、児童にとって身近な内容になっている。しかし、大豆の加工食品は、一見して大豆からできていると思えないものが多く、児童にとって新しい知識を得ながら楽しく読み進められる内容となっている。また、「大豆をおいしく食べるくふう」が一段落一事項で書かれ、各段落の一文目が説明の中心となっていたり、5つの事例が接続語を使って、簡単なものから複雑なものへ順に並んでいたり、段落相互の関係についても理解を深めることができる教材である。

そこで、本単元では、段落の役割を意識しながら、それぞれの段落で述べられている文章の内容を正しく読む力を高めていけると考える。

このことは、4学年「アップとルーズで伝える」の段落相互の関係を考えながら、筆者が伝えたいことを読み取ることにもつながっていく。

(3) 指導について

本単元では、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章の内容を読むことを学習のねらいとしている。そのために、学習のまとめとして「大豆のひみつリーフレット」を作る言語活動を位置付ける。友達に知らせるために、大事なことを分かりやすく伝えるための工夫について

教材文を詳しく読み、文章構成や各段落での書き方について意識させながら学習を進めたい。

まず、文章全体の構成をとらえ、大豆をおいしく食べる工夫について読み取る。そして、「中」に書かれている食品の順序やその理由を考える活動を通して、児童自身に段落相互の関係を考えさせ、事例の順序や接続語の使い方など、表現の工夫を視点として読み取りを行っていく。グループで考えを交流し合う場を設定し、互いの考えを聞き合う中で自分の考えを整理したり、再構築したりすることができるようにする。

最後に、教材文の表し方で学習した表現の工夫を生かしながら、大豆のすがたの変え方について簡単なリーフレットにまとめ、本単元のねらいに迫らせたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

身近な食べ物のすがたの変え方に興味をもち、進んで読んだりまとめたりすることができる。

(2) 読むこと

- ・中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係を考え、文章の内容を読むことができる。
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文中の語句について、国語辞典を利用して調べることができる。

4 指導と評価の計画

次	時	学習内容	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
小2		物の作り方を説明した文章を順序に気をつけて読む。【せつめいのしかたに気をつけて読もう】「しかけカードの作り方」	しかけカードの作り方に興味をもち、どのように書かれているかを整理しようとしている。	写真と文を対応させながら、手順や事柄の順序などに気付いて読んでいる。	順序を表す言葉や表現の意味を理解している。
一	1 2	大豆を使った食品について考える。単元のねらいを知り、学習計画を立てる。	大豆がすがたを変える様子について興味をもち、リーフレット作りに取り組もうとしている。		
二	3	文章全体の構成とそれぞれの部分の大きな内容を考える。	写真を手がかりに、文章の構成を考えようとしている。	初め・中・終わりの構成をとらえ、おおまかな内容をとらえている。	
	4 5	大豆をおいしく食べる工夫と食品について読み取る。	大豆を使った食品の工夫について読もうとしている。	段落ごとに、大豆をおいしく食べる工夫について読み取ることができる。	文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。
	6 【本時】	「中」の段落の説明のしかたの工夫を見つける。	食べ物のすがたの変え方について、交流を通して、順序やその理由を考えようとしている。	食べ物の順序や理由を考えることを通して、段落相互の関係をとらえることができる。	指示語や接続語が、文と文のつながりに果たす役割に気付いている。
	7	「すがたをかえる大豆」に書かれた説明文としての分かりやすい書き方をまとめる。	説明文の分かりやすい組み立て方についてまとめようとしている。	説明文の組み立て方の工夫について気づき、読み取ることができる。	
三	8 9	「大豆のひみつリーフレット」を作るために、伝えたい内容を整理し、書く。	伝えたい内容を整理して、リーフレットにまとめようとしている。	中心となる文を確かめながら読み、説明されていることを整理している。	文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。
	10	友達とリーフレットを読み合い、交流する。	友達のリーフレットを読み、気付いたことを伝えようとしている。	友達の文章の表し方の工夫に気付いて読んでいる。	
小4		段落どうしの関係や、文章全体における段落の役割を考える。【段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう】「アップとルーズで伝える」	写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。	それぞれの段落の役割を全体でどのような役割を果たしているかを考えながら読んでいる。	指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることに気付いている。

5 本時の指導

(1) 目標

「中」に書かれている「食べ物」の順序や理由を考えることを通して、段落相互の関係をとらえることができる。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	食べ物の姿の変え方について、交流を通して、順序やその理由を考えようとしている。
読む能力	「中」に書かれている「食べ物」の順序や理由を考えることを通して、段落相互の関係をとらえることができる。
言語についての知識・理解・技能	指示語や接続語が、文と文とのつながりに果たす役割に気付いている。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 10分	1 前時の想起 2 課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「中」の書き方のくふうを考えよう。</div> 3 課題解決の見通し	●どんな食べ物があったか確認しながら写真を提示する。 ●写真で説明の順序を確認し、並び方には筆者の意図と工夫があることを知らせる。 ●写真や中心となる文に着目して、分かりやすく表す工夫を見つけていくことを確認し、見通しをもたせる。
展開 30分	4 課題の解決 (1) 一人で段落の並びの理由を考え、シートにまとめる。 (2) グループで自分の考えと友達の考えを比べながら、考えを深める。 (3) 全体で学び合う。	●段落の順序の理由を説明できるように考えながら活動させる。 ●グループ学習の仕方を確認する。 ●お互いの考えの共通点や相違点を聞きながら、交流させる。 ●迷っていたり、交流が止まったりしたときには、教材文を確認し考えさせるようにする。 ●手を加える回数が少ない順、大豆の形に近い順などから並べていることを説明した児童がいたときは、取り上げて全体で確認する。 ●児童の考えを認め、事例の並べ方の工夫により、分かりやすくなっていることに気付かせる。
	5 まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 【本時における目指す児童の姿】 ・大豆の形があるものと、そうでないものに分けて並べている。 ・簡単にできるものから時間の掛かる物に分けて並べている。 </div>	◎食べ物の事例の順序やその理由を考えることを通して、段落相互の関係をとらえている。 (ワークシート・発言)

終末 5分	6 振り返り	●分かったことや気付いたこと、友達の考えのよさなどについて、本時で思ったことをまとめ、学習を振り返らせる。
	<p>【振り返り 例】</p> <p>・説明するときには、内容のまとまりの並べ方を工夫すると分かりやすいことが分かった。また、つなぎ言葉も使うと分かりやすいと思った。食べ物のひみつパンフレットを書くときにやってみたい。</p>	
	7 次時の確認	●次時は、説明文の分かりやすい書き方について学習することを確認、意欲をもたせる。

(4) 板書計画

<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 大豆の形の変り方や、手の加え方など、読む人が 分かりやすいじゅんじよで書いている。</p> </div>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">⑦</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">⑥</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">⑤</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">④</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">③</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">筆者の 考え</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">形がない</td> <td colspan="4"></td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">形がある</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">児童の 考え</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">時間が かかる</td> <td colspan="4"></td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">時間が かからない</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">児童の 考え</td> </tr> </table>		⑦	⑥	⑤	④	③	筆者の 考え	形がない					形がある	児童の 考え	時間が かかる					時間が かからない	児童の 考え	<p style="text-align: center;">「中」の書き方のくふうを考えよう。</p> <p style="text-align: center;">食べたをかえる大豆</p> <p style="text-align: center;">国分 牧衛</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">食べ物のひみつパンフレットをつくらう</p>
	⑦	⑥	⑤	④	③	筆者の 考え																	
形がない					形がある	児童の 考え																	
時間が かかる					時間が かからない	児童の 考え																	